

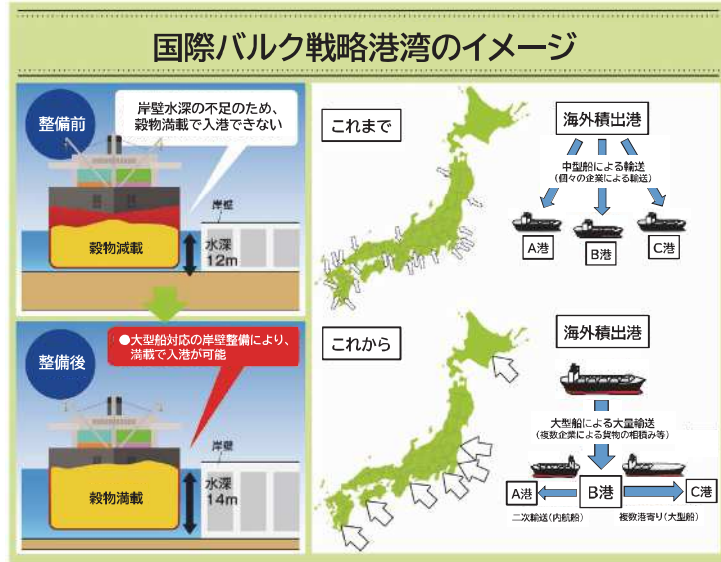
志布志港の取組～Efforts～

国際バルク戦略港湾

「和牛日本一」に輝いた鹿児島黒牛などを生産する国内有数の畜産地帯を背後に有する志布志港では、世界各国から飼料原料が輸入され、周辺の立地企業から九州各地に配合飼料等が搬出されています。

九州で唯一、国際バルク戦略港湾（穀物）に選定されており、穀物バルク船の大型化に対応した施設整備を行うことで、効率的な輸入機能強化が図られ、南九州地域の畜産業の競争力強化に繋がることが期待されています。

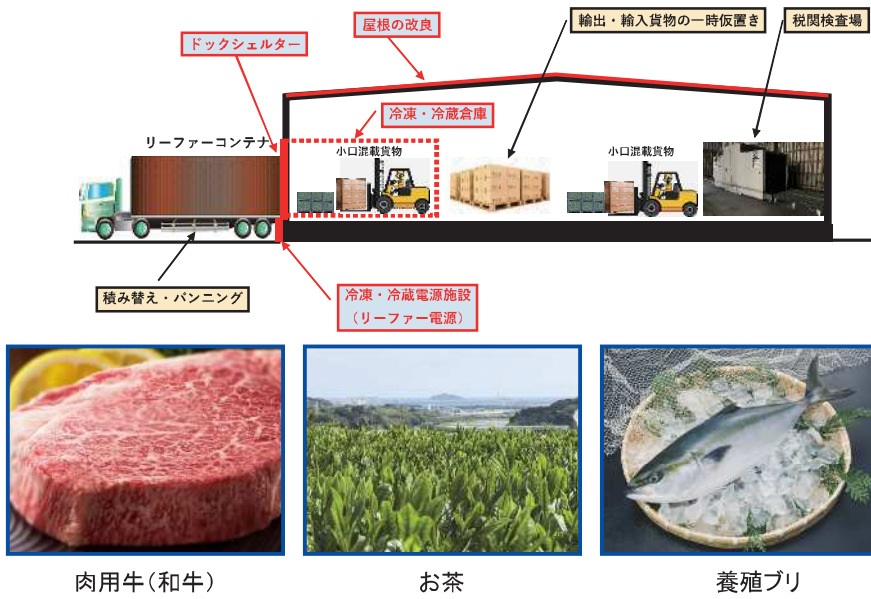
また、施設整備にあたっては、大規模災害時におけるサプライチェーン確保、物流機能強化を図るため、耐震対策も進めています。



產直港灣

志布志港では、背後地域が農林水産物の一大生産地となっているポテンシャルを活かし、新若浜地区国際コンテナターミナルを活用した農林水産物・食品の輸出促進に取り組んでいます。

ターミナル内の公共上屋に温度・衛生管理が可能な荷捌き施設（冷凍・冷蔵倉庫／ドックシェルター等）を新たに整備し、全国で3港目の産直港湾として、大ロット輸出産地の形成に向けた輸出環境の強化を図ります。



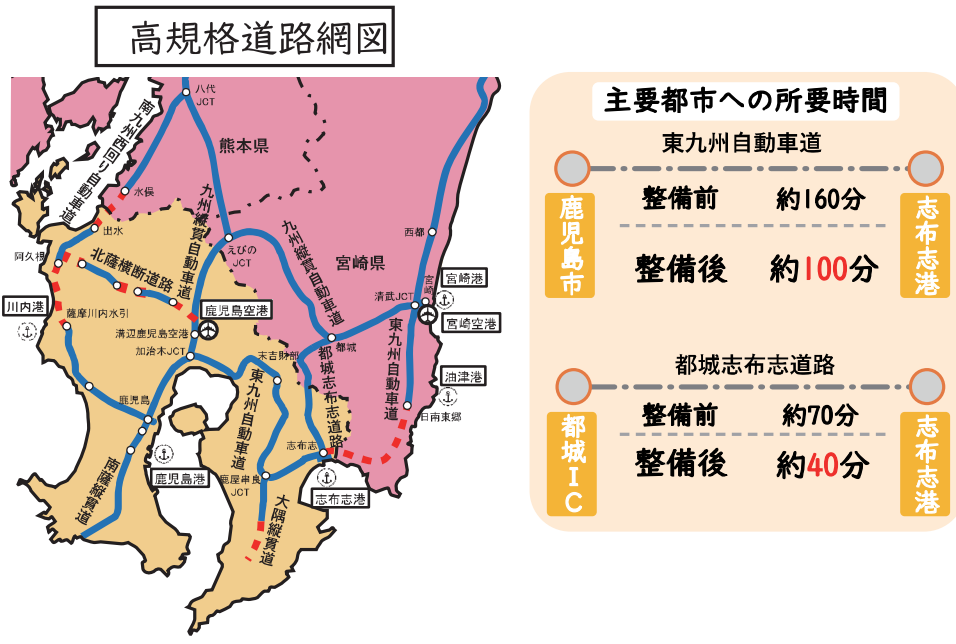
交通ネットワークの整備

東九州自動車道や、令和7年3月に全線開通した都城志布志道路など広域道路ネットワークの整備により、志布志港へのアクセス性が向上しています。

志布志港と併せて活用することにより、カーボンニュートラルの実現やトラック運転手の労働時間規制、モーダルシフトへの対応が期待されます。

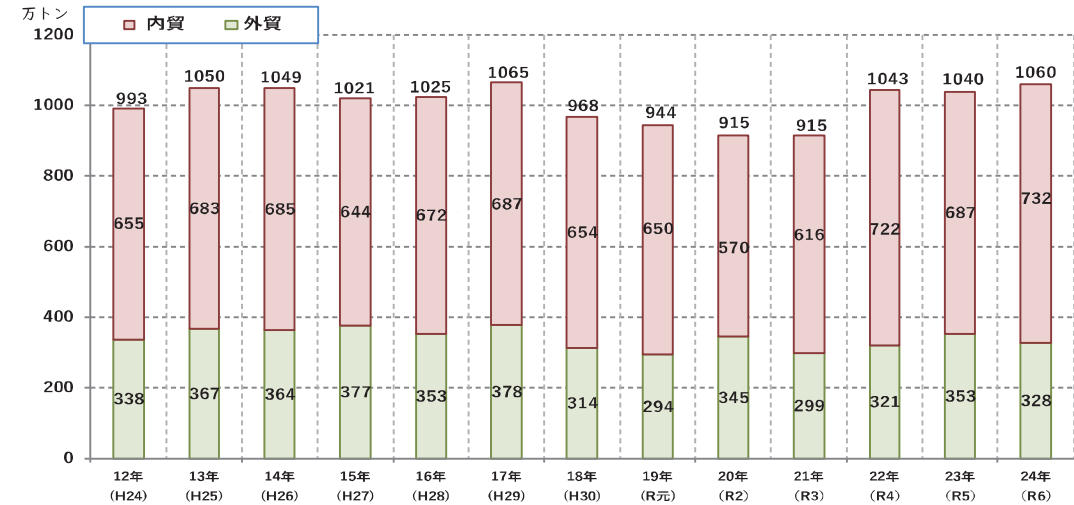


都城志布志道路 志布志IC



数字で見る志布志港～Deta Box～

港灣取扱貨物量



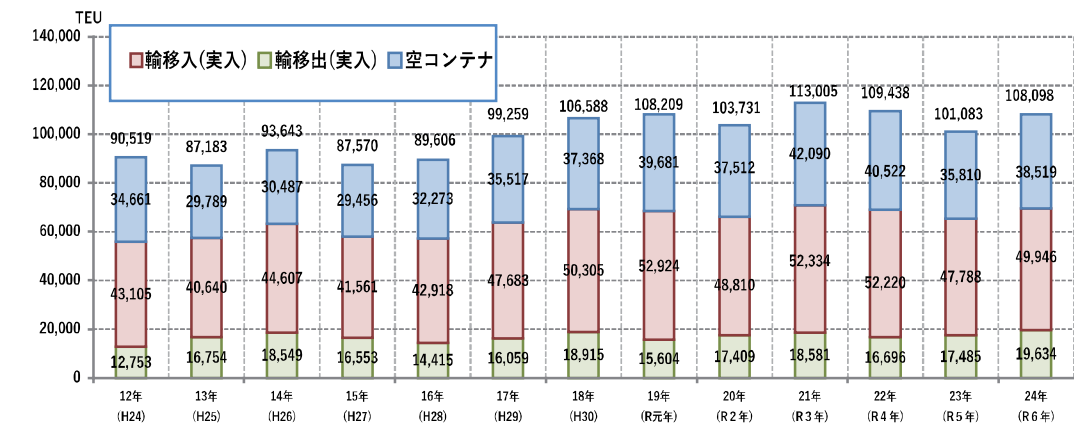
志布志港では主に配合飼料の原料となる、とうもろこしなどが輸入され、輸出では原木などの貨物が取り扱われています。

移出入においては、主にフェリーなどを利用した貨物が取り扱われています。

港湾取扱貨物量ランキング

ランク	輸出：394,802(フレート・トン)		輸入：2,888,770(フレート・トン)		移出：4,161,049(フレート・トン)		移入：3,161,653(フレート・トン)	
1	原木	310,310 (79%)	とうもろこし	1,699,469 (59%)	フェリー	3,118,845 (75%)	フェリー	2,437,430 (77%)
2	動植物性製造飼肥料	25,319 (6%)	動植物性製造飼肥料	364,716 (13%)	とうもろこし	373,493 (9%)	動植物性製造飼肥料	165,656 (5%)
3	その他畜産品	11,041 (3%)	麦	231,822 (8%)	石材	297,755 (7%)	セメント	117,422 (4%)
4	紙・パルプ	9,803 (2%)	その他雑穀	229,257 (7%)	動植物性製造飼肥料	58,726 (1%)	砂利・砂	111,024 (4%)
5	ゴム製品	8,903 (2%)	その他農産品	124,561 (4%)	麦	56,293 (1%)	その他雑穀	65,526 (2%)
6	その他雑穀	3,400 (1%)	化学薬品	50,209 (2%)	砂利・砂	30,036 (1%)	その他農産品	62,227 (2%)
その他	その他	26,026 (7%)	その他	188,736 (7%)	その他	225,901 (6%)	その他	202,368 (6%)

コンテナ取扱貨物量



志布志港のコンテナ取扱貨物量は、近年約10万TEUで推移しております。

輸出、移出においては原木やゴム製品等、輸入、移入においては主に畜産飼料等が取り扱われております。

コンテナ取扱貨物量ランキング

ランク	輸出：33,826 (TEU)		輸入：38,322 (TEU)		移出：17,741 (TEU)		移入：18,210 (TEU)	
1	原木	2,776 (8%)	動植物性製造飼肥料	11,538 (30%)	ゴム製品	3,538 (20%)	動植物性製造飼肥料	7,253 (40%)
2	ゴム製品	1,756 (5%)	その他農産品	10,680 (28%)	動植物性製造飼肥料	3,048 (17%)	その他農産品	3,515 (20%)
3	紙・パルプ	720 (2%)	化学薬品	3,226 (8%)	その他林産品	1,196 (7%)	樹脂類	1,870 (10%)
4	その他畜産品	612 (2%)	薬品	1,640 (4%)	再利用資材	455 (3%)	染料・塗料・合成樹脂 ・その他化学工業品	168 (1%)
5	動植物性製造飼肥料	606 (2%)	染料・塗料・合成樹脂 ・その他化学工業品	1,263 (3%)	製材	342 (2%)	化学薬品	156 (1%)
6	自動車部品	309 (1%)	ゴム製品	1,178 (3%)	その他畜産品	280 (2%)	ゴム製品	153 (1%)
その他	その他	27,191 (81%)	その他	8,797 (23%)	その他	8,882 (50%)	その他	5,095 (28%)

志布志港の将来像

長期構想の策定

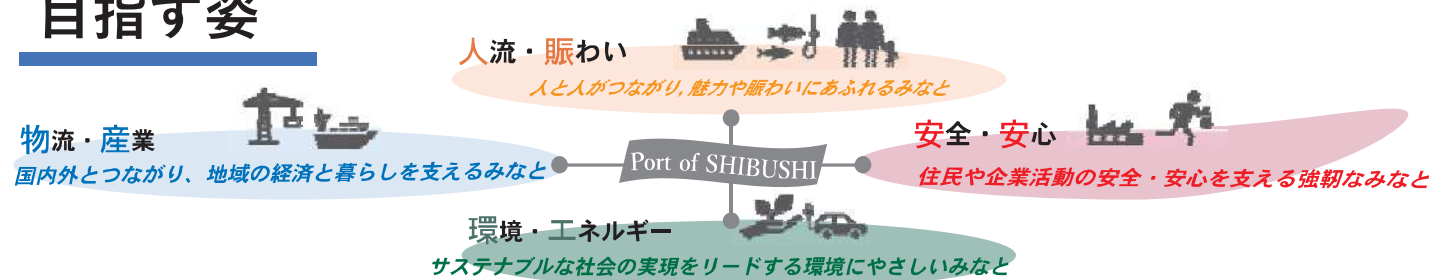
志布志港は、昭和47年に港湾計画を策定し、平成5年の改訂や、その後の一部変更等により、国際的な流通機能の充実を図るべき港湾として位置づけ、整備を進めてきました。

近年、原木取扱の増加や都城志布志道路等の交通ネットワークの進展など、志布志港を取り巻く情勢は大きく変化しています。このような環境の変化に対応するため、概ね20年から30年先の総合的な港湾空間の形成とあり方について、目指すべき将来像やその実現に向けた空間利用計画（ゾーニング）施策などをとりまとめた、「志布志港長期構想」を令和7年3月に策定しました。

基本理念

～ 地域の**ポテンシャル**と**稼ぐ力**を引き出す、
世界に開かれた**“志”**あふれる **志布志港** ～

目指す姿



基本戦略

物流・産業

県内及び南九州地域の安定的な物流や産業の発展を支える海上輸送拠点の形成

人流・賑わい

背後地域の観光振興を支える
交流・賑わい拠点の形成

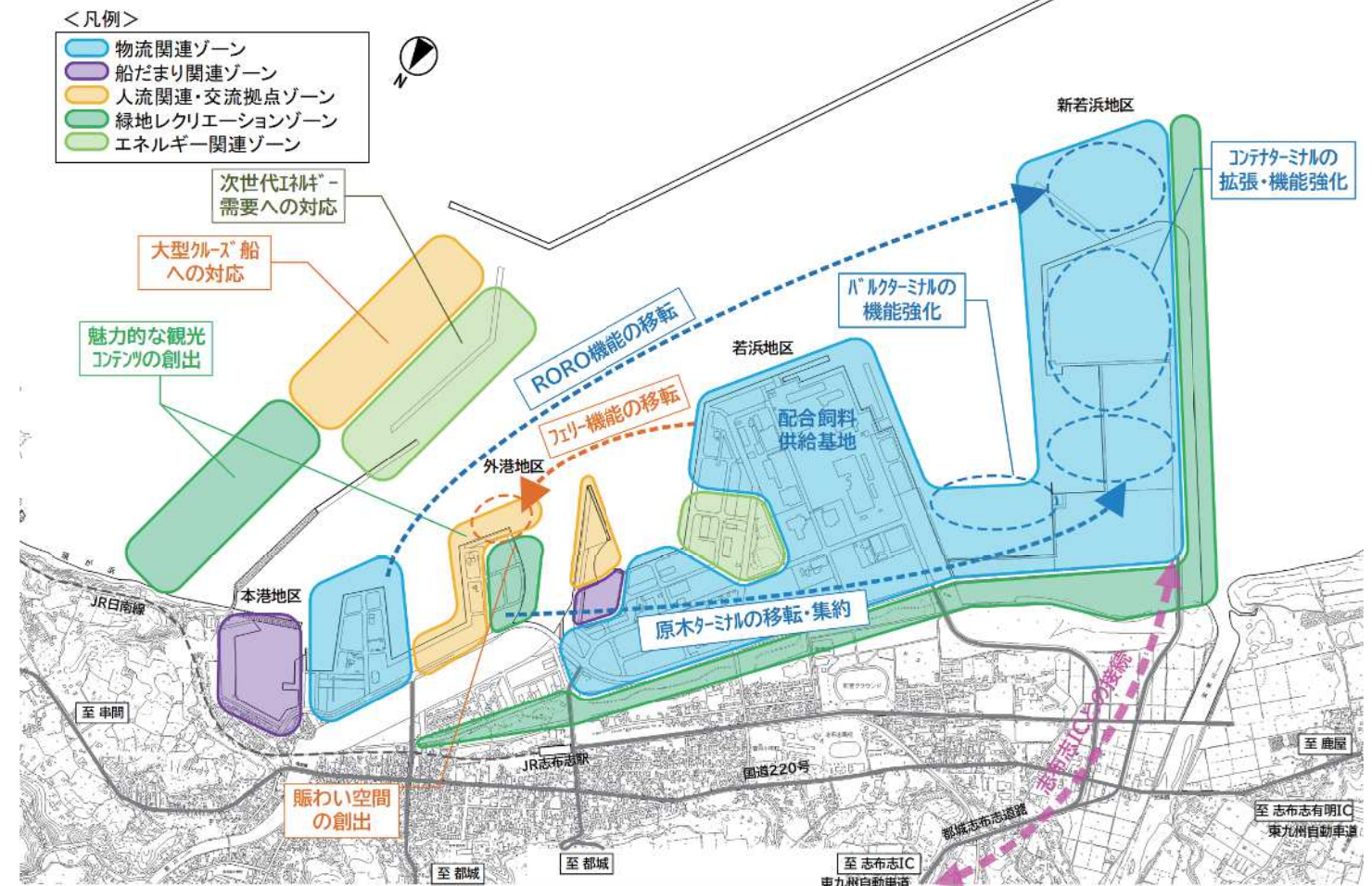
安全·安心

災害対応力の向上による安全かつ
安定した防災拠点の形成

環境・エネルギー

環境に配慮した港づくりと背後地域の脱炭素化を
先導するカーボンニュートラルポートの形成

志布志港のゾーニング図



取組方針と具体施策

○農林水産物・食品の輸出拡大等に対応した環境整備

コンテナ蔵置等のための用地不足解消のため、コンテナターミナルの拡張を図ります。

○モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化

外港地区にフェリー機能、新若浜地区にRORO機能を移転し、利便性・安全性の向上を図ります。

○地域の新たなニーズに対応した賑わい・水辺空間の形成

若浜地区の緑地公園を外港地区へ移転し、志布志湾の景観を一望できる緑地を配置・整備します。

○大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策等の実現

幹線貨物等の輸送拠点としての機能向上を図るため、耐震強化岸壁を整備します。

○津波災害時における港湾背後地域等への被害低減対策の実現

港湾の事業継続計画に基づく事前対策、直前予防対応を実施します。

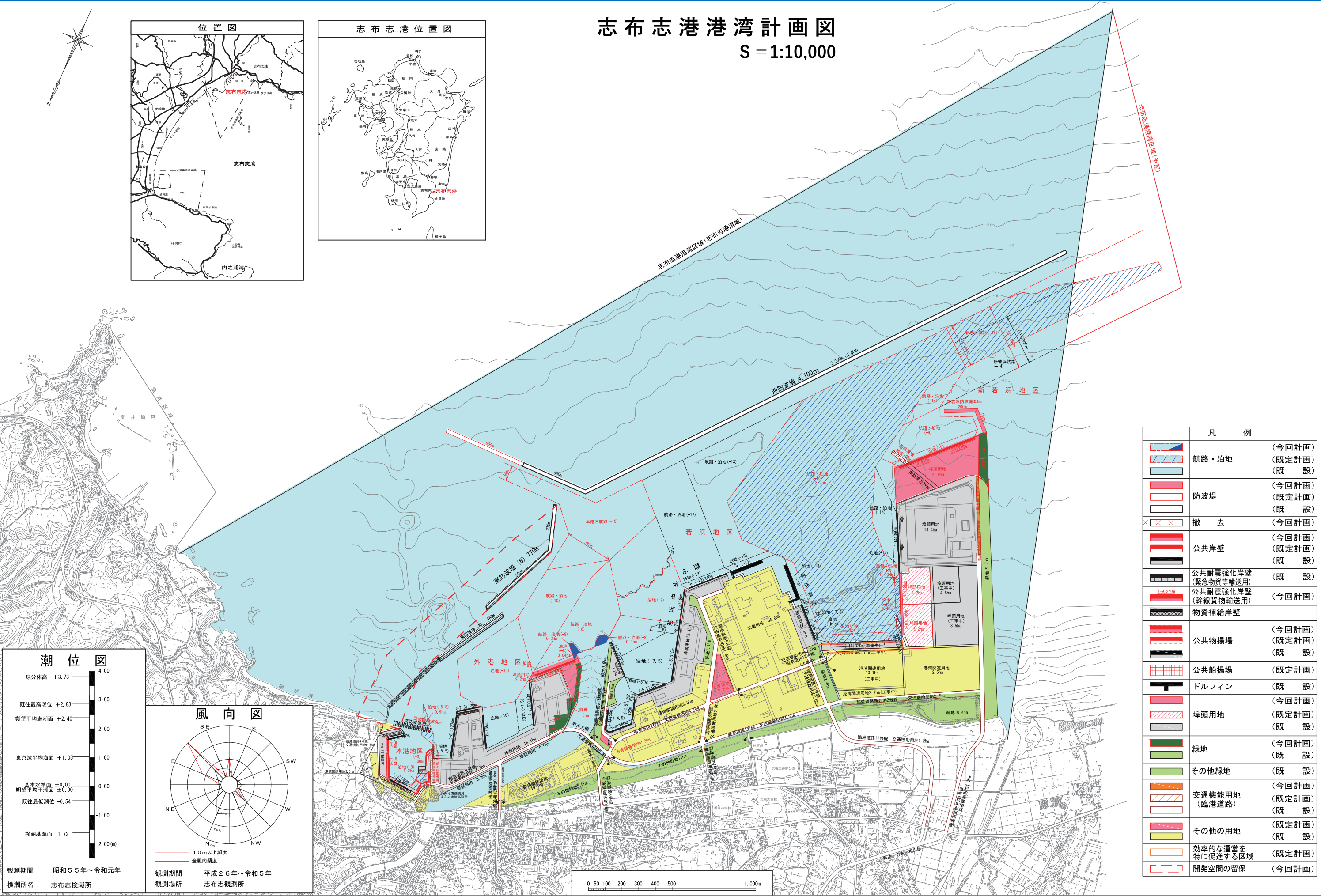
○脱炭素社会の実現に向けた港湾空間の形成

公共ターミナル内の荷役機械の電化やFC化の導入を促進します。

○生物多様性による豊かな海の実現

C02吸収促進に向けた藻場や干潟の造成を検討します。

港湾計画図



令和七年十一月(改訂)

志布志港湾管理者 鹿児島県

経済活動を支える「港のしごと」

コンテナ船への荷役



倉庫での荷役作業



船舶係留時の綱取り



ターミナルでの荷役



志布志港ポートセールス推進協議会

事務局：鹿児島県土木部港湾空港課
〒890-8577
鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL 099-286-3640
FAX 099-286-5629
E-mail:kouwanp@pref.kagoshima.lg.jp

助成金等の情報はこちらから→→→



志布志港湾振興協議会

事務局：志布志市みなと振興課
〒899-7192
鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
TEL 099-472-1111
FAX 099-473-2203
E-mail:minato@city.shibushi.lg.jp

助成金等の情報はこちらから→→→



係船料 Mooring Fee

区分 Classification	単位 Unit	料金 Fee	備考 Note
内航定期航路船 Domestic Regular Route Ship	同一係留施設を1日2回以上使用する 場合1回ごとに Vessels for regular domestic routes Per use when using the same moorings less than twice a day	係留時間2時間未満のとき、 総トン数1トンにつき Per ton when mooring time is less than 2 hours	1円89銭 ¥1.89
		係留時間2時間以上のとき、 24時間までごとに 総トン数1トンにつき Per ton when mooring time is between 2 and 24 hours	2円78銭 ¥2.78
内航定期航路船以外の船舶 Other than Domestic Regular Route Ship	1回ごとに係留時間12時間以下のとき、 総トン数1トンにつき Vessels other than regular domestic routes Per use per ton when mooring time is less than 12 hours	3円91銭 (3円59銭) ¥3.91 (¥3.59)	外航船舶にあっては括弧書きの料金。 20トン未満の船舶は無料。
	1回ごとに係留時間12時間を超え、 24時間以下のとき総トン数1トンにつき Per use per ton when mooring time is more than 12 and less than 24 hours	5円20銭 (4円78銭) ¥5.20 (¥4.78)	志布志港新若浜地区において係留し、又は荷役機械を使用するコンテナ船に限り、係留料を1/2に減免する。
	1回ごとに係留時間24時間を超えるとき、総トン数1トンにつき Per use per ton when mooring time is more than 24 hours	5円20銭(4円78銭)に24時間を超える係留時間12時間までごとに2円61銭(2円39銭)を加算した額 Overtime Charge ¥2.61 (¥2.39) Per 12 hours from over 24 hours (in addition to above rate)	The fee in parenthesis refers to international vessels. 50% exemption only Shin-Wakahama Sector

野積場使用料 Open Storage Fee

単位 Unit	料金 Fee	備考 Note
一般使用 1日1平方メートルにつき General use Per square meter Per day	1円89銭 ¥1.89	舗装区域については1日1平方メートルにつき1円65銭を加算する。 Per square meter per day is added to the paved area
専用使用 1日1平方メートルにつき Exclusive use Per square meter Per month	58円15銭 ¥58.15	

上屋使用料 Storage Facility Fee

単位 Unit	料金 Fee	備考 Note
1日1平方メートルにつき Per square meter per day	継続使用10日以内 Continuous use for less than 10 days 10円11銭 ¥10.11	
	継続使用11日以上 Continuous use for more than 11 days 18円96銭 ¥18.96	

ガントリークレーン使用料 Gantry Crane Fee

単位 Unit	料金 Fee	備考 Note
1号機 No.1 crane	減免後：13,370円 After exemption: ¥13,370	志布志港新若浜地区において係留し、又は荷役機械を使用するコンテナ船に限り、荷役機械使用料を1/2に減免する。 50% exemption only Shin-Wakahama area
2号機 No.2 crane	減免前：26,740円 Before exemption: ¥26,740	

リーファーコンセント使用料 Reefer Outlet Fee

単位 Unit	料金 Fee	備考 Note
1日1時間までごとに Per outlet per hour	350円 ¥350	志布志市による助成制度あり Shibushi City provides subsidy program for reduction

